

10月27日(日)「imagination～想像を形に～」をテーマに緑鷹祭を開催しました。初の試みとして、児童・生徒全員での合唱を取り入れたほか、昨年まで午後の部で行っていた「中学部の合唱」を小学生に聴いてもらうなど、前例踏襲ではない緑鷹祭を、生徒会執行部が中心となって企画・運営してくれました。午後のステージ発表では、「総合的な学習の時間」で学んだことを劇として表現しました。今年のスローガンとして掲げている「全力燃焼」を会の運営も含め、すべての場面において感じられました。この緑鷹祭の取り組みで、多くのことを学び成長できたことでしょう。個人としても、集団としてもこれからの学校生活でその真価が問われます。

中学生になって初めての緑鷹祭でした。「COSMOS」や「変わらないもの」を歌ったときに少し歌詞が飛んでしまったけど、すぐに歌い始めることができました。劇では、ダムのことについて、松原さんから話を聞き、それを活かしながら台本を完成させました。私は矢幡町長役で、出てくる場面は少なかったけど、精一杯役になりきることができました。私はあと2回緑鷹祭に参加できるので来年や再来年はもっといい劇をお客さんに見せられるようにしたいです。

7年生 渡辺 百華さん

私が小学生の発表を見た感想は、全員の声が大きく見ている人たちに聞こえやすい発表をしていて良かったです。それに昨年よりレベルが上がっている学年もたくさんありました。中学生の劇では、劇の中で何を伝えたいのかがよくわかりました。今年度の緑鷹祭では一人ひとりが想像力を働かせて全力で劇をしていたので良かったと思いました。来年は最後の緑鷹祭になるので最後まで全力で取り組みたいです。

8年生 五藤 美幸さん



まず、壁画についてです。僕は、壁画の実行委員長として当日まで壁画の作成を頑張りました。その中で何度もミスがあり、やり直すところがたくさんありました。そのこともあり、壁画が完成した時はとても嬉しかったです。劇ではあまりセリフがなかったので、その中でどうやって面白くするかを考えてセリフを増やしたり、動きを入れたりして工夫しました。クラスみんなが頑張ってきたのでとてもいい劇ができたと思います。みんな演技がうまく最高の思い出になりました。

9年生 矢羽田 陸くん

僕は、開会行事と閉会行事の司会進行を務めました。みんなが聞き取りやすいように言葉を噛まないことや早口にならないように意識しました。間の取り方やみんなが静かになるまで待つことにも注意しました。自分の中では「まあまあ」という評価ですが、最後までマイクというボタンを繋ぐことができたので良かったです。生徒会の仕事は、新生徒会に引き継ぎをするだけです。それまで、まだ執行部の一員として頑張りたいです。緑鷹祭、お疲れ様でした。

執行部代表 9年生 窪 悠翔くん



来場者の感想(アンケートから抜粋) アンケートへのご協力ありがとうございました。

- 9学年みんなでの合唱がとても素晴らしかったです。
- 楽しんで劇をしていたこと、内容も考えられていて楽しく感動しました。
- 子どもたちの楽しそうな顔、そして自分たちで進行していく行事を初めて見ました。本当に感動しました。
- 各学年素晴らしい発表でした。特に「蜂の巣城」の話は良かったです。大変分かりやすかったです。